

子どもの未来共創サミット2026 冬

Children's Future Co-creation Summit -2026 Winter-

2.17 2026
TUE
13:00-16:30

場所/I-siteなんば
(大阪公立大学)

イベントプログラム

2026冬全体テーマ

子どものためにつながる：学校と地域・企業

地縁社会の希薄化や附属池田小事件の反動などを経て、ともすれば社会に対し閉鎖的な存在となってしまっている学校。一方で、「地域とともにある学校」への転換が目指された“コミュニティ・スクール構想”的法定化から10年弱、部活動の民営化なども進み、より一層学校と地域との連携が求められています。このような世の中の流れの中で、子どもを社会全体で見守り、育てる社会を実現するために、学校と地域の関係性を確認し、学校が地域にひらかれる意義を再考し、そして学校がひらかれるための新たなチャレンジ事例を参加者で共有し、学校と市民社会や民間事業者がまさに“産官学連携”するため、議論する共創イベントです。

講演イベント

「地域にひらかれた学校」に向けての法整備や各省庁の方針、自治体における先進的な取り組みについてご講演いただき、最新の情報をキャッチアップすることができます。

講演① 地域共生社会の実現に向けた教育と福祉の連携

Speaker

南 孝徳 氏

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課
生活困窮者自立支援室／地域共生社会推進室 室長

講演② 地域と一緒に "BE THE PLAYER"

Speaker

北市 康徳 氏

加賀市教育委員会事務局次長兼学校指導課長

パネルディスカッション

テーマ：大阪スマートシティによる

学校と地域の新たなコミュニティ・ポテンシャル

スーパーシティ（国家戦略特区）に指定され、都市OSを活かした自治体DXの最前線となっている大阪府の取組を例に、データを活かした子どもの健全育成のためのポイントと気合、その展望について対談

Panelists

狩野 俊明 氏

大阪府 スマートシティ戦略部 戰略推進室 戰略企画課 課長

瀬野 恭彦 氏

NTT西日本エンタープライズビジネス営業部 デジタルビジネス推進部門

Facilitator

山野 則子 教授

大阪公立大学 現代システム科学研究所 教授

ディスカッション・ネットワーキング

“産官学”各領域を横断した参加者同士によるグループワーク
教育委員会や現場の先生、教育・福祉領域に特化した大学関係者、教育関連サービスを提供する企業担当者が一同に会するグループワークで、“現場のリアルな声”を聞くことができ、明日に活かせるアイデアを創出します！

次に繋がるネットワーキングタイムもご準備！

名刺交換はもちろんのこと、イベントやグループワークで話しきれなかった詳細な議論・情報交換をすることができます！

参加申し込みはこちら

3STEPで申し込み完了！

①QRコードを読み取り

►②参加者情報を登録 ►③登録完了！

参加費

一般参加：1,000円（当日現金支払）

※プラットフォーム正会員・賛助会員は無料

